



(2018.03.27)

保育関係者の皆さまへ

ごそんじですか 『保育協議会通信』

■ 『保育協議会通信』とは？

- ・ 保育協議会通信（以下、「通信」とは、神奈川県社協 保育協議会が発行する広報誌です。
- ・ 県社協 保育協議会は、県域 30 市町村・横浜市・川崎市・相模原市内の保育関係者でそれぞれ構成する 4 団体「神奈川県保育会」「横浜市社協 保育福祉部会」「川崎市社協 保育協議会」「相模原市保育連絡協議会」との協働により、保育の質の向上に向けた取り組みを進めています。

■ 『保育協議会通信』の目指すこと

- ・ 通信発行に向けて、協議会委員会では、『全国や所在市の動きは把握していても、県内の取り組みを知る機会が少ない』『ともすると子どもを預かっているだけと思われがちだが、研究大会や提言・要望活動など、保育の質を高めるための取り組みについても関係者に知ってもらいたい』『協議会としてどのような課題を拾い上げているのか。政策提言など、会員の声が協議会活動につながっていることを伝えたい』といった声が上がりました。
- ・ そこで本通信では、県内 4 団体が一丸となって“かながわの保育”を考えていくための情報共有を進めること、神奈川県内の保育動向や協議会情報を中心に、会員施設をはじめ保護者や施設利用者、関係者の皆さんに向けて幅広く発信することを目的に企画・発行しています。

■ 『保育協議会通信』の使い方 ～園の掲示板に貼り出してみませんか？

- ・ 通信の発行は年 3 回、会員施設にメールまたはファクス送付するほか、主催研修会等でも配布しています。（研修情報等は、別途情報提供メールを送付）
- ・ 会員施設の皆さまにおかれましても、職員向けの回覧資料として、関係会議の参考資料として、また、保育所を利用する保護者の皆さんなどの目に留まるよう掲示板に貼り出してくださいなど、活用いただけますと幸いです。



■ 皆さんの声をお寄せください！

- ・ 通信は、会員施設の皆さんの声をもとに、協議会委員が中心となって作成しています。「県内の〇〇情報が知りたい」「△△を取り上げてほしい」など、皆さんのご意見をお寄せください！

《今後の掲載予定》

県内待機児童数、保育士資格者数、潜在保育士数、キャリアアップ等研修の参加状況、全国・関東大会の様子、神奈川の保育の歴史 等

【事務局】神奈川県社会福祉協議会 福祉サービス推進部 社会福祉施設・団体担当
TEL045-311-1424 FAX045-313-0737 MAIL sisetu@knsyk.jp

今号のもくじ

- 1. 保育ざっかん
- 2. 保育協議会の動き
- 3. 県内団体の動き
- 4. 関係機関情報
- 5. おしらせ

暑さもようやくしのぎやすい季節となりましたが、秋の行事に向けて、お忙しい日々をお過ごしでしょうか。さて、県内行政区の枠組みを超え、“オールかながわ”の情報共有を目指す『保育協議会通信』が今年もスタートします。よろしくお願いいたします。



1. 保育ざっかん (正副会長寄稿)

会員施設の皆様におかれましては、新たな「処遇改善等加算Ⅱ」制度に向け、保育エキスパート等研修（国名称：保育士等キャリアアップ研修）に関心を寄せられていることと思います。現在、本県では、県委託研修や保育センター研修の他、横浜市・相模原市・横須賀市・県保育会主催の分野別研修「障害児保育」「マネジメント」が公式指定を受けています。身近な地域で質の高い保育実践を目指していくためにも、保育団体等による研修会の活用をぜひご検討ください。

神奈川県社会福祉協議会保育協議会 会長 萩原 敬三
 (一般社団法人神奈川県保育会 理事長、大原保育園 園長/伊勢原市)

去る8月27日、横浜市内の保育関係団体との協働により、「よこはま保育フォーラム2017」を開催しました。4回目を迎える今年はパシフィコ横浜に会場を移し、市内の中学生・高校生に参加を呼びかけるなど、取り組みのすそ野を広げています。保育人材の確保、その後の定着・育成はなかなか手強い課題ですが、「子どもたちの健やかな未来のために。」この原点を確認しつつ、神奈川の保育の未来について会員施設の皆様と共に考え、協議会活動に取り組んで参りたいと思います。

神奈川県社会福祉協議会保育協議会 副会長 佐野 健一
 (横浜市社協 保育福祉部会長、しらとり台保育園さつきが丘 園長/横浜市)

***「保育協議会通信」は、
 県社協保育協議会 広報委員会
 で企画・編集しています。**

【広報委員会】

- 柿原 建男《委員長》
 (第二白百合乳児保育園 園長/横浜市)
- 藤田 理恵
 (岡田保育園 園長/厚木市)
- 長瀬 太
 (あさのみ保育園 園長/川崎市)
- 吉岡 輝明
 (大野台保育園 園長/相模原市)



ご意見・ご感想は
 下記事務局まで
 お寄せください。

2. 県社協 保育協議会の動き

◇正副会長会議では、県次世代育成課との協働のもと、保育エキスパート等研修の委託・指定に関する情報交換、各団体の取り組み状況や研修受講を取り巻く保育現場の課題等について協議を進めています。
 ⇒研修日時・会場・申込方法等は、県ホームページに公開されています。

◇改定保育所保育指針をテーマとした第1回研修会（講師：鶴見大学短期大学部 天野珠路教授）には、96施設115名が参加。アンケートでは、「新旧指針の比較が分かりやすく改定のねらいが分かりました」「心のコモったお話。今後の意欲につながった」等の声が寄せられました。
 ※会場定員により、参加をお断りした会員施設の皆様にお詫び申し上げます

⇒主催事業・会議等の実施状況 (H29.4~8)

- ・ 4月 8日 第44回新任保育士激励会
- ・ 5月 9日 第1回正副会長会議
- ・ 6月13日 第1回委員会
 第1回総会・行政説明・研修会
- ・ 8月 1日 第2回正副会長会議
- ・ 8月 8日 第1回広報委員会
- ・ 8月23日 第1回調査・研修委員会



▲激励会参加者は200名超
 ▲好評のパネルシアター

↓ [発行] 神奈川県社会福祉協議会 施設部会 保育協議会
 ↓ [事務局] 県社協 福祉サービス推進部 社会福祉施設・団体担当
 〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡 4-2 県社会福祉会館 3階
 TEL: 045-311-1424 FAX: 045-313-0737
 E-mail: sisetu@knsyk.jp

★本通信は、会員施設をはじめ関係団体の皆様へFAX・メール発信しています

「他施設の情報を知りたい」
「広報に取り上げてほしい」
など、会員施設の皆様の声を
お寄せください！



4. 関係機関情報

チームで取り組もう！苦情解決

改訂保育所保育指針では、新たに「保育所の社会的責任」が規定され、そのひとつとして「個人情報の適切な取り扱いと苦情解決」が示されました。

また、本年3月には、17年ぶりに「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針」が改定されるなど、注目を集めています。

苦情は、利用者の期待や願望が満たされない、裏切られたと感じたとき、また、決まりや約束を破られたときに、不満、不信となって生まれます。

“現場で何か不具合が起きているサイン”として受け止め、いち早く内容を把握し、事実の確認、誠実な対応をするとともに、その後、必ずやっておくべきことは「情報の共有化」「業務への反映」です。

日頃の業務や連絡体制の見直し、マニュアルや研修への反映等につなげていくことで、継続的に改善を続けるサイクルが生まれます。担当者や責任者だけでなく、全職員へのフィードバックによる気づき、支援の工夫や見直しの積み重ねが大切です。

⇒ 苦情対応のポイント等について、県社協機関紙「福祉タイムズ7月号・特集」に掲載。県社協ホームページから閲覧できます。

【かながわ福祉サービス運営適正化委員会*事務局】
横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2
かながわ県民センター14階
TEL：045-317-2200（相談専用）
FAX：045-322-3559

* 社会福祉法第83条に基づき都道府県社協に設置。福祉サービスの苦情解決にあたるとともに、事業者段階での苦情解決に向けた啓発等を行っています。

5. おしらせ

(1) 神奈川県保育のつどい

10月下旬をめどに、開催要綱・申込様式を発送します。ぜひご参加ください。

日時：平成29年12月2日(土)

午後2時～4時30分

会場：神奈川県立音楽堂（横浜市西区）

(2) 平成30年度全国保育研究大会

来年度は川崎市開催！ご予定ください。

日時：平成30年10月24日(水)～26日(金)

会場：川崎市スポーツ・文化総合センター（川崎市川崎区）【予定】

3. 県内団体の動き（レポート：横浜市社協 保育福祉部会）

第60回大都市社会福祉施設協議会を開催しました！

7月20日～21日の2日間、横浜市にて、大都市社会福祉施設協議会が開催されました。この協議会は、大都市における社会福祉施設の問題を研究討議・解決し、社会福祉事業の充実・向上に資することを目的として、年1回、各都市の持ち回りで開催されるものです。「経営」「高齢」「児童」「保育」「障害」「生活福祉」の6つの種別で研究会に分かれ、討議がされました。

初日の基調講演では厚生労働省 生活困窮者自立支援室長の本後健氏から、「地域共生社会の実現に向けて社会福祉施設に求められる役割」と題して、生活課題の中の「他人事」を『我が事』のように、地域、分野を越えた『丸ごと』支え合える社会、地域に向けた施策について、報告がされました。



その後、種別に分散し、保育研究会では、各都市におけるキャリアアップ研修への行政の姿勢・取組状況や、人材確保・定着に向けた取組が報告されました。横浜市からも、人材確保と人材育成について、担当部署の課長に助言者としてご発言を頂きました。各都市の市単費助成等に関する資料交換も行われました。

交流会では、横浜ならではのおもてなしにと、地元プロバスケットチームのチアリーディングチームによるアトラクション、横浜醤油のプレゼント抽選会が行われました。

2日目には、各研究会の座長から協議結果の報告会を行い、各種別の抱える課題を共有しました。



特別講演は、横浜ブリキのおもちゃ博物館館長の北原照久氏をお招きし、夢を掴む10のコツといった前向きに生きる氏の講話から、ライフワークとしての命を賭して国土を護った特攻隊員慰霊施設への関わり、宇宙旅行への夢が語られ、参加者の感動を呼んでいました。



この協議会では、各種別研究会の要望をまとめ、秋ごろ(10月)に関係省庁へ届けに行くことになっており、特区関連での施策も踏まえ内閣府などに各都市の代表者が訪問・手交する運びとなっています。

また、今後の課題は、予算要求に沿った開催時期の見直しと、新たな政令市・中核市による正式参加の促進です。なお県下では、横浜市・川崎市の他、オブザーバーとして相模原市が参加しています。

実行委員として参加させていただいて運営に携わり、よい刺激をいただき、また改めて広域での意見交換、種別を越えた交流の大切さを感じました。

来年は福岡市にて開催されます。

【寄稿：第二白百合乳児保育園園長 柿原建男さん】

第60回大都市社会福祉施設協議会「保育福祉研究会」

〈国などへの要望事項(案)〉

1. 保育士のキャリアパスに係る研修体系について
2. 保育の質の向上のための職員配置基準と処遇改善について
3. 待機児童解消や保育の質の向上のための保育制度に対する国の財源確保について
4. 自治体の判断による保育所設置基準の緩和への反対について

〈参加都市〉

札幌市、千葉市、川崎市、名古屋市、大阪市、神戸市、広島市、北九州市、福岡市、堺市、横浜市（参加者47名）



★次号では、「関東ブロック保育事業連絡協議会（9/7～8、川崎市開催）」についてレポート予定です。

3. 県内団体の動き（レポート：川崎市社協 保育協議会）

平成29年度関東ブロック保育事業連絡協議会が開催されました！

平成29年9月7日（木）～8日（金）に川崎市を会場として、平成29年度関東ブロック保育事業連絡協議会が開催されました。

この保育事業連絡協議会は、関東ブロック内の保育関係者が各々の立場から今日の課題を持ち寄り、相互理解を深め、関係機関・団体とより一層の連携強化を図るとともに、効率的かつ効果的事業の運営方策を導くために研究・協議することを目的として開催されています。今年度は15都県市より122名の方にご参加いただきました。



第1日目は全体会終了後、「保育部会」「保育士部会」「主管課部会」「リーダー育成部会」「事務担当者部会」の5つの職域別部会に分かれ協議を行いました。協議内容は多岐に分かれており、全てをご紹介する事はできませんが、各部会でキャリアアップ研修・処遇改善加算が協議の中心となることが多く、各都県市で進捗状況や取り組み方法に差が出て来ている状況が浮き彫りになりました。また、保育士が都市部へ集中してしまい自治体ごとに格差が生じる等の保育人材確保問題や保育の魅力発信についても各部会共通の課題であったようです。

それ以外でも業務のICT化や保育士の子どもへの優先入所、要配慮児への保育の取り組みとその保護者支援、改定保育所保育指針への対応や男性保育士の現状、次世代リーダーの育成について協議を行った部会もありました。

2日目には各部会からの報告後、田園調布学園大学大学院教授佐伯胖先生を講師にお招きし「保育におけるこどもの育ちをどう見るか～二人称的アプローチから見えてくること」と題して記念講演会を行い、乳幼児期から「人間」として見て、「情動的」に関わる（情感込みで関わる）こと、乳幼児の情感表現に深く注意をはらって関わることの大切さについてお話いただきました。



この2日間を通して関東ブロック内での情報や取り組み、課題の共有を行うことができ、参加された皆様にも有意義な時間をお過ごしいただけたのではないのでしょうか。

次年度は東京都で開催予定です。

【寄稿：川崎市社会福祉協議会 保育協議会】

4. 関係機関情報

進めてみませんか？福祉サービス第三者評価

～自施設の強みを見える化し、チームワークを高める仕組み～



福祉サービス第三者評価事業は、個々の事業者が事業運営における問題点を把握し、サービスの質の向上に結びつけるとともに、評価結果の公表が利用者の適切なサービス選択に資するための情報となることを目的としたものです。

この第三者評価は、事業者が任意で受ける仕組みですが、保育サービスの質の向上を図り、安心して子供を預けることができる環境を整備する必要があることから、平成27年4月施行の子ども・子育て支援新制度では、保育所等の特定教育・保育施設による受審が努力義務化されました。平成27～31年度末までの5年間ですべての事業者において受審・公表が行われることを目標とし、5年に1度の受審が可能となるよう、受審料の半額程度を公定価格の加算（上限15万円）として補助することとしています。

平成28年度の受審実績をみると、神奈川県は全国で2番目に多い316件。事業所種別では、「保育所」が最も多い245件（県域市町村24、横浜市157、川崎市56、相模原市8）で全体の8割弱を占めます。また、受審事業所の半数以上に「複数回の受審経験がある」ことが特徴です。受審事業者アンケートでは「全職員が保育理念を確認し合い、全体としての見直しできてよかった」「保育園や保育士の良いところ、気づきを促す丁寧なヒアリングが行われた」との声が挙がっています。

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構（県社協）では、受審事業者による体験報告資料のメール請求に都度対応しているほか、「受審の手引き」「活用事例集」「評価項目」等をホームページに掲載しています。受審検討中の皆さま、ぜひご利用ください。



【かながわ福祉サービス第三者評価推進機構事務局】

横浜市神奈川区沢渡4-2 神奈川県社会福祉会館3階

TEL：045-290-7432 FAX：045-322-3559 MAIL：daisansya@knsy.jp

▲12/12事前説明会(保育分野)は55事業所63名参加

5. おしらせ

(1) 第2回研修会

日時：平成30年1月23日(火)

午後2時45分～4時30分

会場：横浜市健康福祉総合センター
4階ホール（横浜市中区）

テーマ：新たな保育指針と期待される
保育実践～指定改定に至る時
代的背景を踏まえて

講師：山縣文治氏(関西大学教授)

(2) 第3回研修会 ※総会同日

日時：平成30年2月27日(火)

午後3時～4時30分【予定】

会場：神奈川県社会福祉会館
2階会議室（横浜市神奈川区）

テーマ：保育士の離職防止と職場定着

講師：鈴木健史氏(東京立正短期大学講師)

(3) 平成30年度新任保育士激励会

日時：平成30年4月7日(土)

午後2時～4時20分【予定】

会場：神奈川県社会福祉会館
2階講堂（横浜市神奈川区）

(4) 平成30年度全国保育研究大会

日時：平成30年10月24日(水)～26日(金)

会場：川崎市スポーツ・文化総合センター（川崎市川崎区）【予定】

今号のもくじ

- 1. 保育協議会の動き
- 2. 県内団体の動き①②
- 3. 関係機関情報
- 4. おしらせ

今年度もいよいよ残りわずか、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。この一年で大きく成長した子どもたちをお祝いするかのよう、桜の花も開き始めています。

さて、県内行政区の枠組みを超え、“オールかながわ”の情報共有を目指す『保育協議会通信第3号』をお届けします。



1. 県社協 保育協議会の動き

- ◇ 第2回総会（2/27）では、次年度の重点活動として、「保育士等キャリアアップ研修への職員参加状況」「改定保育所保育指針に基づく保育実践」などについて、4県市間（県域市町村・横浜市・川崎市・相模原市間）の情報交換と協働を積極的に進めていくことが確認されました。

⇒主催事業・会議等の実施状況（H30.1～3）

- ・1月23日 第2回研修会
- ・2月 6日 第3回広報委員会
- ・1月29日 第3回調査・研修委員会
- ・2月27日 第2回委員会・総会・行政説明・研修会
- ・2月 1日 第5回正副会長会議
- ・3月27日 保育協議会通信第3号発行

2. 県内団体の動き①（レポート：神奈川県保育会）

平成29年度キャリアアップ研修会の実施状況

（一社）神奈川県保育会では、国が定める「保育士等キャリアアップ研修」の実施団体として神奈川県より指定を受けました。

キャリアアップ研修は、保育士が保育の専門性を高めながら、やりがいを持って働くことができるよう、一定の経験を積んだ保育士を対象に乳児保育、障害児保育、食育・アレルギー等、研修分野がありますが、「マネジメント分野」の研修を会員保育所職員、会員外である横浜市、川崎市、相模原市の保育所職員を対象として開催いたしました。今年度はキャリアアップ研修、キャリアアップ対象外の研修会も一部実施しました。（下表のとおり）

キャリアアップ研修を実施する上で研修内容、参加人員、会場確保、キャリアアップ研修対象者の個人情報管理など色んな課題もありますが、研修内容の更なる充実を図り、来年度もキャリアアップ研修を開催する予定です。

【寄稿：神奈川県保育会】



▲研修会の様子

<キャリアアップ研修>

No.	名称	講師	参加数	開催地
1	保育士の育成研修Ⅰ	洗足こども短期大学 准教授 井上真理子氏	122人	大和市
2	苦情解決の取り組み研修Ⅰ	井) マネジメントコンシェルジュ 村上元茂氏	146人	横浜市
3	安全と子どもの見守り研修	東京都市大学 客員教授 猪熊弘子氏	184人	横浜市
4	保育所等職員の健康研修	安田式体育遊び研究所 所長 居間達彦氏	148人	横浜市
5	保育士の育成研修Ⅱ	洗足こども短期大学 准教授 井上真理子氏	153人	藤沢市
6	苦情解決の取り組み研修Ⅱ	神奈川県保育会 保育園利用者相談室第三者委員	172人	茅ヶ崎市

<キャリアアップ対象外研修>

1	保育の考え方 保育の基礎を学びあう研修	山梨大学 教授 加藤繁美氏	112人	横浜市
2	保育所等の食育研修	相模女子大学 教授 堤ちはる氏	86人	横浜市

＊「保育協議会通信」は、
県社協保育協議会 広報委員会
で企画・編集しています。

【広報委員会】

- 柿原 建男《委員長》
（第二百合乳児保育園 園長／横浜市）
- 藤田 理恵
（岡田保育園 園長／厚木市）
- 長瀬 太
（あさのみ保育園 園長／川崎市）
- 吉岡 輝明
（大野台保育園 園長／相模原市）



ご意見・ご感想は
下記事務局まで
お寄せください。

【発行】
神奈川県社会福祉協議会
施設部会 保育協議会

【事務局】
県社協 福祉サービス推進部
社会福祉施設・団体担当

〒221-0844
横浜市神奈川区沢渡 4-2
県社会福祉会館 3階
TEL：045-311-1424
FAX：045-313-0737
E-mail: sisetu@knsyk.jp

★本通信は、会員施設をはじめ関係団体の皆様へFAX・メール発信しています

2. 県内団体の動き② (レポート：相模原市保育連絡協議会)

小規模保育所等の保育の質を高めるために ～部会員研修の取り組み紹介～

相模原市では急増する保育需要の高まりに応え、「待機児童ゼロ」を達成するため、保育所を新設するとともに、今までは認可外であった個人が経営するような小規模の保育施設や、株式会社、NPO法人を経営主体とする保育施設に対しても市の認可を与え、保育の受け皿を増やす取り組みを行ってきました。相模原市保育連絡協議会は、設立以来、相模原市の公立保育園と私立園長会に所属する主に社会福祉法人を経営主体とする保育園・認定こども園を「正会員」として活動を続けてきましたが、このような新たな経営主体や小規模の保育施設が増える中で、「同じ市の認可園として、会員園と同等の保育の質を担保していきたい」という同市の意向を受け、新たな施設の施設長・保育士等に向けた研修実施を委託されました。

委託研修の実施にあたり、同協議会の会則において、正会員とは別に「部会員」を新たに位置づけ、3年前より「部会員研修」を年4回実施しています。部会員数は年々増え、現在は45園を数えます。本年度の部会員研修には毎回30園ほどが参加し、さらに正会員園からも希望者が加わり、80名程度の参加で行われています。

研修の内容としては、開始当初から2年間は、「現在に至る本市保育事業への取り組みの経緯と現状」(講師：同協議会会長、市子ども育成アドバイザー)や子ども生命に直結する「施設の安全管理や衛生管理」(※)などを中心テーマに開催しました。



▲講師の塩谷さん

そして、3年目となる本年度からは、乳児保育を専門とされている國學院大學教育実践総合センター教授の塩谷香さんをお招きし、「乳児保育の基本的な知識や技能」「保護者への対応」等をテーマに、通年4回の連続講座を企画しました。この連続講座では毎回必ず講義の後に1時間程度、同じメンバーによる小グループでのグループワークを取り入れ、運営規模の違う保育所の保育士や施設長がそれぞれの立場で語り合う場を設定。これは正会員・部会員の別なく大変好評で、日頃保育現場で抱えている悩みや課題を共有する貴重な時間となりました。



▲情報交換に賑わうグループワーク

次年度の「部会員研修」の方向性については検討中ですが、この3年間の取り組みを通して、部会員に属する施設長や保育士等も、正会員と同じく研修を深め、知識や技能を高めていきたいという意欲は変わらないことがわかりました。今後可能であれば、正会員・部会員の別なく、共に参加できる研修機会をさらに増やしていくことも考えていきたいと思っております。

【寄稿：相模原市保育連絡協議会】

- ※「施設の安全管理や衛生管理」
研修テーマ・講師
- ◆事故から子どもを守るには?～「変えられるもの」を見つけ、変えられるものを変える～
(N) Safe Kids Japan 理事長、緑園こどもクリニック院長 山中龍宏氏
 - ◆保育所における感染症の予防と対策～感染症の話を中心に～
はさこどもクリニック院長 西迫真氏
 - ◆子どもの事故と救急蘇生法～実技も交えて～
横浜市立市民病院小児救急看護認定看護師 松山美鈴氏
救急救命センターHOI新地志保氏
 - ◆保育施設における重大事故を防ぐために～被害者支援の中で見えてきたこと～
弁護士・社会福祉士 寺町東子氏
 - ◆保育施設での感染症を広げないために～嘔吐物処理の方法、実技も含めて～
相模原市疾病対策課
保健師 富澤恭子氏、齋藤雅弥氏

3. 関係機関情報

保育人材の確保に向けて

～かながわ保育士・保育所支援センターの取り組み～

「かながわ保育士・保育所支援センター(以下、保・保センター)」は、県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の委託を受け、保育の仕事に関心のある方や保育分野への就職を考えている方への個別相談や求人情報の提供、職場見学調整のほか、就職支援セミナーや就職相談会などを通じた支援を行っています。

このような取り組みの中から、必要な保育人材を確保するためには、今の求職者のニーズを把握、理解して、保育の仕事のやりがいや魅力を現場や関係者と一緒に広く発信していく工夫がとても大切です。就職支援セミナーなどでの「現場経験がなくても人生経験が生かされる仕事」「現場での保育と地域の子育てをチームワークで考えていく職場」など、現場発信のメッセージは求職者の不安軽減や次の一歩を踏み出すきっかけになっています。

また、県社協では、1年以上ブランクのある保育士で県内の保育所等に就職予定の方に、必要な資金を貸し付ける「保育士就職準備金貸付」(限度額20万円)事業を行っており、保・保センターでの就職活動などが要件になっています。採用決定者(内定者含む)への情報提供及び貸付時等で必要書類の提出をお願いいたします。

保・保センターでの求人募集にはセンターへの登録が必要になります。

【かながわ保育士・保育所支援センター】

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター13階
TEL 045-312-4816 FAX 045-313-4590



4. おしらせ



(1) 新任保育士激励会

日時：平成30年4月7日(土)
午後2時～4時20分【予定】

会場：神奈川県社会福祉会館
2階講堂(横浜市神奈川区)

締切：平成30年3月30日(金)まで

(2) 全国保育研究大会(川崎大会)

日時：平成30年10月24日(水)～26日(金)

会場：川崎市スポーツ・文化総合センター(川崎市川崎区)

(3) 神奈川県保育のつどい

(第54回神奈川県保育賞贈呈式)

日時：平成30年12月8日(土)

会場：鎌倉芸術館 大ホール(鎌倉市)

※次年度神奈川県保育のつどいは、「12月第2土曜日」「鎌倉芸術館」に変更しています。

※第54回神奈川県保育賞候補者の推薦受付は、「平成30年7～9月頃」の予定です。